

今日のトピック

「情報技術」セクターが主導する米国株式市場

「情報技術」セクターの利益成長は好調

ポイント1 ナスダックが史上最高値を更新
「情報技術」セクターが主導

- 米国株式市場は、「情報技術」セクターが主導する展開が続いています。「情報技術」セクターが時価総額の約43%を占めるナスダック総合指数は、6月14日に史上最高値を更新しました。S&P500種指数は1月26日の高値を更新できていませんが、時価総額の約26%を占めるS&P500種情報技術株指数は6月6日に史上最高値を更新しています。

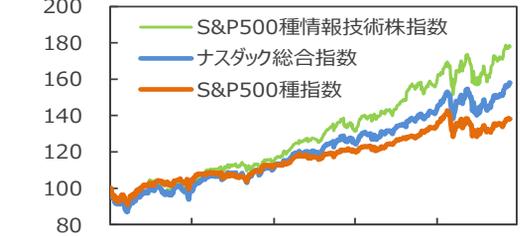
ポイント2 「情報技術」の利益成長は好調
2018年は+30%超の増益見通し

- S&P500種情報技術株指数の1株当たり予想利益は成長が持続すると期待されます。ブルームバグの集計によれば（6月15日現在）、S&P500採用企業の18年の増益率は前年比+29%、「情報技術」セクターは同+34%となる見通しです。ただ、「情報技術」セクターの予想株価収益率は18倍台で推移しており、2016年以降の平均（17.1倍）を上回り、やや割高感が台頭しています。

今後の展開 **上向きに転じた半導体売上モメンタム**

- 米国株式市場は、引き続き「情報技術」セクターがけん引する展開が続くそうです。今後は、利益成長の上振れ期待が持続するかが重要です。この点では、世界の半導体売上モメンタムが底打ちから上向きに転じてきていることが注目されます。2018年は2月、3月とマイナスとなりましたが、2018年4月には0%に戻りました。米国の半導体売上が回復すれば、半導体売上に勢いが戻り、「情報技術」セクターの業績と株価にとってはプラス材料になると期待されます。
- ただ、米中貿易摩擦には引き続き注意する必要があります。米政権が発表した対中制裁関税はハイテク製品が含まれています。今後、ハイテク製品が本格的に関税対象となれば、半導体の売上にも影響を与える可能性があります。

【主要米国株価指数の推移】



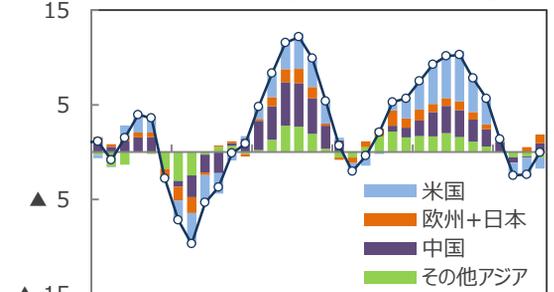
16/1 16/7 17/1 17/7 18/1 (年/月)
(注) データは2016年1月4日～2018年6月15日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【S&P500種情報技術株指数と同1株当たり予想利益の推移】



16/1 16/7 17/1 17/7 18/1 (年/月)
(注) データは2016年1月4日～2018年6月15日。1株当たり予想利益は12カ月先行（Bloomberg L.P.集計）。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【世界の半導体売上モメンタム】



15/7 16/1 16/7 17/1 17/7 18/1 (年/月)
(注) データは2015年7月～2018年4月。3カ月移動平均値の3カ月前変化率。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック! 2018年6月14日 利上げを進める米国の金融政策（2018年6月）
2018年5月30日 業績予想が上振れる米国株式市場

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。